



発行:認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会 発行者:秋吉美千代 印刷:ビーグ有限会社

## セラピューティック・ケアの母国へ、6回目の訪問

理事長 秋吉 美千代

2016年12月、6回目の英国研修訪問に25名の会員が参加。事故もなく元気に帰国できました。

英国赤十字社では3~4年前にセラピューティック・ケアからHand, Arm & Shoulder Massage Service (HASM)に名称が変わっており、コンプリメンタリー・セラピスト(ボランティアさんで、指導のできる方)のマーガレット女史他4名の方から、9:30~16:00まで終日指導を受けることができました。

そして、研修の終わりには全員に、修了証と手提げに入った記念の品もいただきました。その一つのマグカップ&コースターには、英國赤十字社創立125周年を記念して1995年に作られたHumanity Roseというバラの絵があしらわれています。

昼食は近くのレストランで、英國赤十字社のスタッフと一緒にランチ。最高齢のボランティアはベリルさんという87歳のとてもキュートな方で、会員の皆さんから次々にツーショットの依頼を受け笑顔がはじけていました。

手技はこれまでと変わっていないということでしたが、緊急支援での施術を前提に、ハンド&アームケアの手順は簡略化され、手浴やマニキュアの部分も省かれており、レッグケアも外されていました。

また、これまでの英國赤十字社訪問時と同じく、5人の

指導者それぞれの手技が少しずつ異なっており、受けられた方は戸惑っていたようです。スキルアップと手技の統一大切さを感じられたことだと思います。

当協会では福祉施設はもちろん、子育て支援や被災者の心のケアなども行っており、日本でのセラピューティック・ケアがさらに進化していることを確信することができました。

私が最初に習ったセラピューティック・ケアとは名称や手技が少し変わっていましたが、当協会は今までどおり、これまで確立してきた手技を届けていきます。スキルの統一大切さも痛感しましたので、ともにスキルアップに努めていきましょう。



◆修了証と研修資料(テキスト)、  
記念にいただいたマグカップ&  
コースター、ボトルペンなど。

# 英国研修報告

2016年12月4日(日)～10日(土)

報告:事務局 樋口

今回の英国研修には、3つの研修を組みこみました。

1つ目は、世界で最初のホスピスであるセント・クリストファーズ・ホスピスでの半日研修(全員参加)。このホスピスで定年退職後もボランティアとして活動されているジェニーさんから、創設者であるシシリー・ソンダース女史の生涯やホスピスの沿革、理念や活動内容などをお話しいただいたあと、看護師として22年間勤務しているキャシーさんより、1つの事例を通してホスピスの取り組みをご紹介。施設内ガイドツアー(見学)に続いては、コンプリメンタリー・セラピストのサラさんから、医学と並行してホスピス内で行われている代替療法についてご紹介いただきました。

その人が自分の人生を最期の瞬間までどう生きぬきたいか、希望を聞き出し、それが叶うようにサポートしていく、まさに「パーソン・センタード・ケア」の理念を追求されていることに感動しました。

今回の最大の目的である英国赤十字社での終日研修は6日(火)、テニスで有名なウィンブルドンにある英国赤十字社本部のオフィスで行われました(全員参加)。2、3年前に名称が「ハンド、アーム&ショルダーマッサージ(HASM)」に変ったということで、最初にケアの概要や英国赤十字社での取り組みの紹介とデモンストレーションがありました。

今回は、当協会を紹介する資料(英文)も持参したので、すでにご存じでしょうからと理論的なことは軽く流し、全員が英国赤十字社のセラピストから施術を受け、次は横で指導を受けながら実際にやってみてと、午前午後の時間をいっぱいに使ってみっちりと実技を教えていただけました。

タオルの使いまわしや患者の爪切り、施術者のネイル・香水やアルコールの匂いなどを厳しく禁じるなど、英国赤十字社が感染予防と事故防止(リスク管理)を重視していることが伝わってきた反面、ハンド時に使用したオーガニックのクリームで手がかぶれた人が3名あり、当協会の乳液の良さを改めて感じたりもしました。

研修の終わりには、サービスマネージャーのイヴさんから1人ひとりに修了証を授与され、さらにお土産まで。また当協会のHPやリーフレット上に英国赤十字社のロゴを使用することも許可していただけました。

3つ目の研修は、希望者のみ(19名)参加でのヘンダーソン・コート高齢者住宅への訪問です。この施設は英国最大の慈善団体エイジ・コンサーーンが運営されているもので、施設の運営や取り組みの説明に加え、施設内の見学もさせていただきました。

日程の関係で連日の研修となりましたが、みなさん熱心に受けられ、充実した3日間となりました。

## セント・クリストファーズ・ホスピス



▲ジェニーさんは晩年のソンダース女史の看護もなさつたそう。

## 英国赤十字社



協会から  
博多人形を  
贈りました。  
▼



## ヘンダーソン・コート高齢者住宅



▲現在住んでいる方のお部屋や、入居者の家族が1週間泊まれる部屋も見せていただきました。

# 当協会の熊本地震被災者支援の取り組み

2016年4月14日(木)熊本地震発生後、すぐにもと思いながらも状況が把握できず交通事情も悪かったため、少し状況が落ち着くのを待ち、熊本の会員さんと連絡を取りあいながら支援活動に取り組みました。

## ●4月29日(祝・金) 会員8名で訪問、25名施術

訪問先:熊本市立帯山小学校避難所、熊本市立託麻西中学校避難所、  
熊本市立東稜高等学校避難所



## ●5月2日(月) 会員18名で訪問、約90名施術

訪問先:熊本学園大学避難所、特別養護老人ホーム天寿園、  
熊本市立一新小学校避難所

## ●5月4日(祝・水) 会員10名で訪問、約30名施術

訪問先:熊本市立花稜中学校避難所、  
熊本ハーベストチャーチ九州キリスト災害支援センター、  
熊本市立五福小学校避難所

## ●6月25日(土) 会員20名で訪問

訪問先:阿蘇YMCAボランティアセンター、熊本YMCA赤水保育園  
\* NHK福岡放送局から同行取材を受け、後日九州全域で放送されました。



## ●9月7日(水) 会員19名で訪問

訪問先:南阿蘇村久木野市庁舎、  
学校法人本田学園あじさい保育・幼稚園(益城町)、  
熊本市総合体育館避難所

## ●10月22日(土) 会員17名で訪問

訪問先:阿蘇YMCA黒川保育園

ケアの対象は一般の方、高齢者・障害者・認知症の方、乳幼児～小学校低学年の子どもと保護者などあらゆる方々で、緊張や不安の緩和の他、車中避難者のエコノミークラス症候群の予防、グリーフケア、子どもたちの心のケアと内容もさまざまです。大規模な震災の場合は、発生直後だけでなく長期にわたり心のケアが必要なので、今後も継続して支援をしていきます。

## リレー・フォー・ライフでの活動報告

福岡、佐賀、高知会場に続き、今年は新しく苫小牧、千葉でも参加しました。

### 7月30日(土)・31日(日) 於:オートキャンプ場苫小牧アルテン(北海道)

報告:北海道支部 森本 淳子

今回北海道支部で24時間参加を決め本番に挑みました。7月30日・31日は予報通り大変な雨が降り、それでも参加者はよく歩き、私たちのテントは絶え間なく人が訪れ、歩いた疲労を癒しに来る人が途切れることはありませんでした。

サバイバーさんをお誘いし施術を受けていただくと、「こんなに優しく気持ちいいケアはもっと多くの人に知らせなくては」と言って頂き、それがきっかけで千葉にもブースを出すことになりました。繋がる喜びを感じ、亡くなつた方を偲び、生きる感動を頂いた二日間。全国のリレー・フォー・ライフに当協会のブースがあると良いなと思っています。



### 10月8日(土)・9日(日) 於:県立幕張海浜公園Bブロック(千葉)

報告:神奈川支部 斎藤 ちか

当日は朝から冷たい風雨。実習しか経験のない私は悪天候に比例するようにイベント初参加に不安大。それでもセラピストコース受講同期らと共に参加できる楽しみと、本イベントに関われることに感謝しつつ、会場へ。

開会宣言に合わせるように雨が上がり、老若男女、多数の方がテントを訪ねてくださり、充実した時は瞬く間に経っていました。最後のケアでは強風のためテントが畳まれ完全野外に。雨上がりの芝生、青空の下で行うケアは、私自身も朝からの不安感が消えて癒やされていく、忘れられないひととき。人と人の繋がり、互いの身体を気遣う心を実感できる貴重な1日となりました。



## ★リレー・フォー・ライフとは

がん患者さんやその家族を支援し、地域全体でがんと向き合う世界的なチャリティ活動。2016年現在、日本では49カ所に広がっています。

連載

## 各地区たより ~ 静岡支部 ~

日本全国にいる会員のみなさんの活動や思いを知り、会員同士のつながりを感じるための連載企画です。

### 看護職就職相談会でセラピューティック・ケアを提供しました

静岡支部 柴田 郁代

再就業を希望する潜在看護職、看護学生などを対象にした看護職のための合同就職相談会が、11月5日静岡、19日沼津、12月3日浜松の3会場で開催されました。静岡県看護協会・県ナースセンターの担当者がセラピューティック・ケアの存在を知ったことをきっかけに、今回初めて依頼を受けました。

各会場に2名ずつ会員が出向いてコーナーを設け、相談にみえた方にハンド&アームケアを主に施術させてい

ただきました。広い会場に多くの病院・老健の職員が相談窓口を作り対応しておられたのですが、待ちの方や終わられた方が立ち寄ってくださり、3会場とも「気持ちがいいですね、癒されました」と好評でした。

しかし、セラピューティック・ケアという名前を知ってる人はなく、静岡では知名度がまだとても低い現状です。協会のリーフレットを持参し広報活動もさせていただきました。

### 通信教育受講生レポート -レポート11-

日総研セラピストコースを受講・修了し、インストラクターの資格を得るために、施設で実習後提出されたレポートです。

#### M.Hさん(北海道)

あるセラピストと出会い、セラピューティック・ケアを施術していただけて、体も心もなんという心地良さだと感動し、何か力が湧いてきて元気になつたのを覚えています。  
通信で勉強して行く中で、このテキストの内容の素晴らしさにまず感銘を受けました。科学的な根拠に基づいたこのメンタルケアの理論にわくわくしながら読み進めていきました。自分の仕事柄(養護教諭)、この理論に共感するところがたくさんあったのです。

スキンシップの大切さを教諭はもっと科学的に学んだ方が良いと思いました。

誰かの喜びが自分の喜びになるボランティア活動、そして誰かを大切にすること、「大切に思っていますよ」ということを示せるスキル、包み込まれることで生まれる安心感、施術する方もされる方も癒され心強く支えられるこのケアをより多くの方々にお届けすることで、自分も幸せを感じながら関わっていきたいと思います。



### 当協会へのご寄附は税控除の対象となります。

#### 1. 個人によるご寄附の場合

所得税の算定において特定寄附金とみなされ、寄附金控除の対象となります。所得控除もしくは税額控除のいずれか、メリットが大きい方を選ぶことができます。

①税額控除:(寄附金額合計-2,000円)×40%が所得税から控除されます。

②所得控除:寄附金額合計-2,000円が所得から控除されます。

※控除を受けるためには、所轄税務署にて確定申告を行なってください。

#### 2. 法人によるご寄附の場合

一般寄附の損金算入限度額とは別に、特定公益増進法人に対する寄附金の額と合わせて、特別損金算入限度額の範囲内で損金算入が認められます。

※損金算入するためには、寄附金査収日を含む事業年度の税務申告書提出の際、当協会の発行する所定の領収書を添付し、申告書をご提出ください。

#### 3. 相続人等による相続財産等のご寄附の場合

取得した財産を相続税の申告期限までに当協会に寄附された場合、寄附した財産の価額は相続税の課税価格の計算の基礎に算入されません。

※控除を受けるためには、相続税の申告書提出の際、当協会の発行する所定の領収書を添付し、申告書をご提出ください。

#### 【お振込先】

寄附金専用口座

ゆうちょ銀行 01770-6-166454

(特非)日本セラピューティック・ケア協会

認定NPO法人

日本セラピューティック・ケア協会

〒818-0125 福岡県太宰府市五条2-6-1-202

TEL:092-928-1546

FAX:092-555-9401

E-mail:info@therapy-care.net

URL:<http://therapy-care.net>

セラピューティック・ケア協会

検索